

『おきたま』の果樹に新たな風を！

平成24年5月
生産販売部園芸課

果樹振興の課題と展望

「JA 山形おきたま」では、平成23年度の販売取扱高202億5千万円のうち、園芸部門は38億2千万円の実績であり、主力部門は米穀・園芸・畜産であるが、米の生産調整面積の増加や農産物価格の低迷により、実従事者の高齢化と高い兼業比率が問題視され、農家経済の安定が課題とされております。

果樹部門での生産実態を見ると、主力のぶどう・りんご・西洋梨の三本柱で面積の激減が見られ、ぶどうでも昭和50年代をピークに豪雪や価格低迷により減少しています。新興品目のラ・フランスでも経済低迷の影響で低価格傾向が続き、唯一、全国的に知名度が高いさくらんぼが健闘している現状です。

JA として目標に掲げる果樹振興施策は、管内の組合員の皆様を中心に地域住民をはじめ、行政の理解と協力を得ながら進めることが果樹振興の近道です。

そして、効率的かつ安定的な経営体が育成され、労働の価値観や生涯所得とも他産業従事者以上であるとの評価が得られ、管内で波及拡大されることが果樹振興における真のアクションとなります。

果樹での担い手の問題となる栽培技術支援については、最大限の行政からの支援をはじめ、JA 山形おきたま独自の指導体制を整備し、多様な担い手へのサポート体制を構築してまいります。

管内果樹農業の恒久的な発展を目指し、JA の使命として次世代につながる収益性の高い振興品目や品種を提案いたします。

【 果 樹 】

商品力ある重点品目品種の明確化と改植誘導

(さくらんぼ・ぶどう・もも)

稲作から果樹への転換戦略

(水田地帯への果樹振興)

『さくらんぼ』

品種構成と労働力分散による出荷時期の拡大

「紅さやか」「紅秀峰」「紅ゆたか」など

長期被覆ハウス普及による早期出荷と所得向上

紅秀峰の導入拡大と佐藤錦の労力配分

剪定による摘芽・摘果の省力化(L以上7割確保)

省力化を目指す棚栽培の普及拡大

『ぶどう』

デラウェアの維持と有望品種の導入拡大
大粒種 「シャインマスカット」を中心とした振興拡大
優良品種「ピオーネ」「ブラックビート」「ゴルビー」
維持品種「高尾」「ロザリオビアンコ」
中粒種 「サニールジュ」
平行整枝短梢剪定栽培の導入(大粒種、デラ)
他県産との競合時期を避けた11月～12月販売実現
「年末販売を目指す栽培技術及び貯蔵技術の確立」
ワイン契約品種の拡大

『りんご』

生産性向上とコスト低減対策の充実
わい性台の積極的導入による早期成園化と省力化
早生種 「ファーストデイ」に絞って導入拡大
中生種 新品種「秋陽」と「シナイト」「シゴールド」「秋映」の導入拡大
晩生種 優良系統ふじの導入拡大

『西洋なし』

ラ・フランス偏重を避け時期別優良品種の拡大
「オーロラ」「バラード」「メロウリッチ」など
適正な土壌管理、整枝剪定、誘引、樹勢維持

『もも』

需要が活発な中晩生種を中心に拡大
「あかつき」「紅川中島白桃」「紅錦香」「美晴白桃」「ゆうぞら」「あぶくま」「玉うさぎ」「さくら白桃」「桃水」「西王母」など

『すもも』

他樹種との複合果樹経営で導入
「大石早生」「紅りょうぜん」「ハニーハート」「ソルダム」「貴陽」「サマーエンジェル」
「サマービュート」「ハリウッド」「太陽」「サンタローザ」「秋姫」「サンリュージュ」
「サンセプト」など

【栽培相談窓口】 園芸課 0238-57-4793 各支店園芸担当者 まで